

「魚津駅東広場」に関する整備の方向性

1. 駅前広場の整備コンセプト

駅前広場は駅と周辺市街地を結ぶ重要な空間であり、駅周辺の市街地との関係も踏まえ、魚津駅東広場が魚津市の新しいまちの顔となるよう、地域の特色や文化を反映し、歩くことが楽しく居心地のよい駅前広場整備を目指します。

(1) 駅前広場整備の方向性の設定

魚津駅・新魚津駅周辺の“あるべきまちの姿”と、市民の誇りである“駅から眺める山並み景観”から、新たな駅前広場として目指す整備の方向性を設定します。



【整備の方向性】

方向性①：魚津らしい整備（デザイン）

⇒住み続けたい、特徴ある景観を反映した駅前広場の実現

方向性②：活気と楽しさが感じられる整備（デザイン）

⇒中心市街地と連携した賑わいのある駅前広場の実現

方向性③：わかりやすくユニバーサルな整備（デザイン）

⇒世代を超えてひとが集まる歩行者に優しい駅前広場の実現

(2) 整備コンセプトの設定

“駅前広場整備の方向性”に、利用者が歩くことが楽しい“居心地の良さ”の提供と、水景や遊びのある休憩空間の創出など“新しい魅力”を組み合わせ、魚津駅東広場を交通結節点や周辺の施設を“それぞれ個別”にとらえるのではなく、駅・駅前広場・周辺市街地を「駅まち空間」として一体的にとらえ、まちの顔となり地域の玄関口にふさわしい駅前広場の整備コンセプトを設定します。



“ひとをつなぐ、まちをつなぐ、時をつなぐ駅まち空間の創出”

■ひとをつなぐ・ひとを心地よくつなげる整備

- 「駅まち空間」が歩くことが楽しく、ひとを引き寄せる心地よく魅力的な空間とするため、様々なイベントやコミュニティ活動が催せる、開放的で柔軟性のある動線を確認します。

■まちをつなぐ・まちの賑わいを意識させる整備

- “商業交流軸とまちなか交流軸”の南北のつながり、“駅東広場と駅西広場”の東西のつながりを意識させ、中心市街地と連携した賑わいを感じさせる広場空間とします。

■時をつなぐ・まちの歴史・文化が感じ取れる整備

- 駅舎コンコース正面から都市計画道路に連なる見通しの効いたビスタを通し、遠望の山並みをアイストップとすることで、まちの歴史・文化が感じ取れ、長く愛着を持って継承されるまちの玄関口にふさわしい駅前広場とします。

2. 駅前広場の整備方針

整備コンセプトと以下の整備方針を踏まえ、エリアの価値の向上、駅利用者の満足度向上に資する賑わい広場空間の創出を目指します。

【整備方針】

整備方針①：公共交通（バス・タクシー）利用の安全性、利便性向上

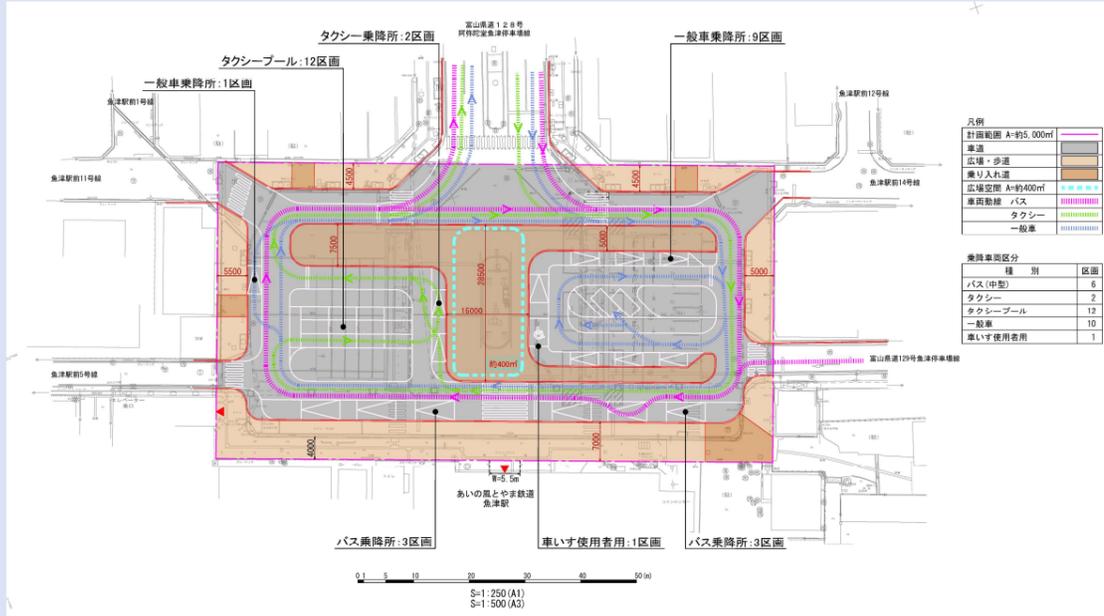
整備方針②：一般車乗降利用の安全性、利便性向上

整備方針③：賑わい広場空間の創出

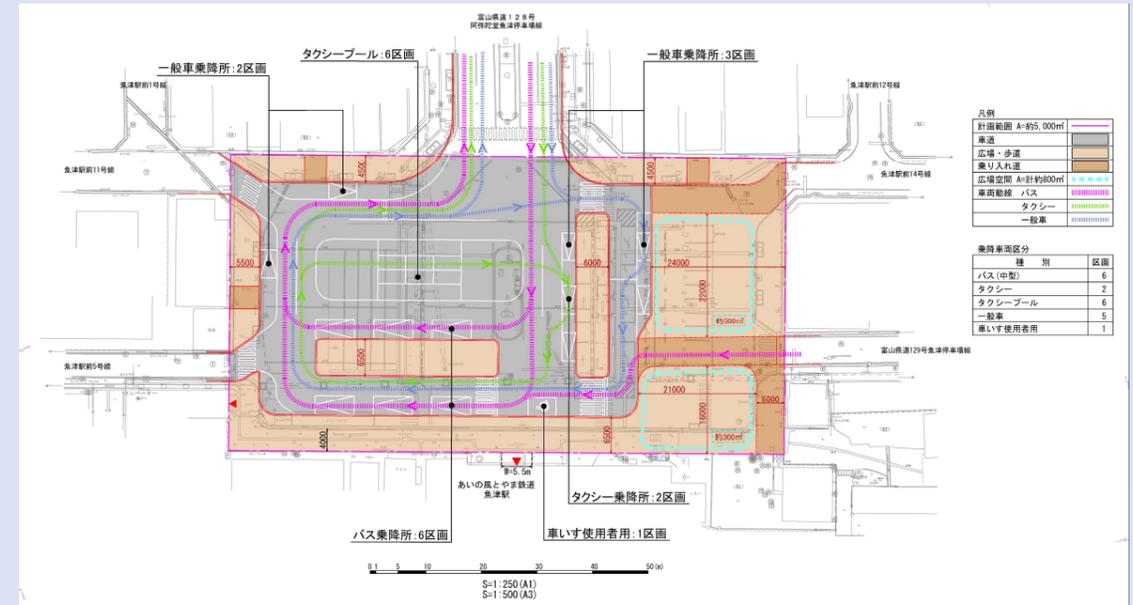
3. ワークショップでの主な意見

ワークショップでは、方向性やコンセプトを踏まえた駅前広場の整備方針に基づき、下記3案が提案され、参加者からは、次のような意見がありました。

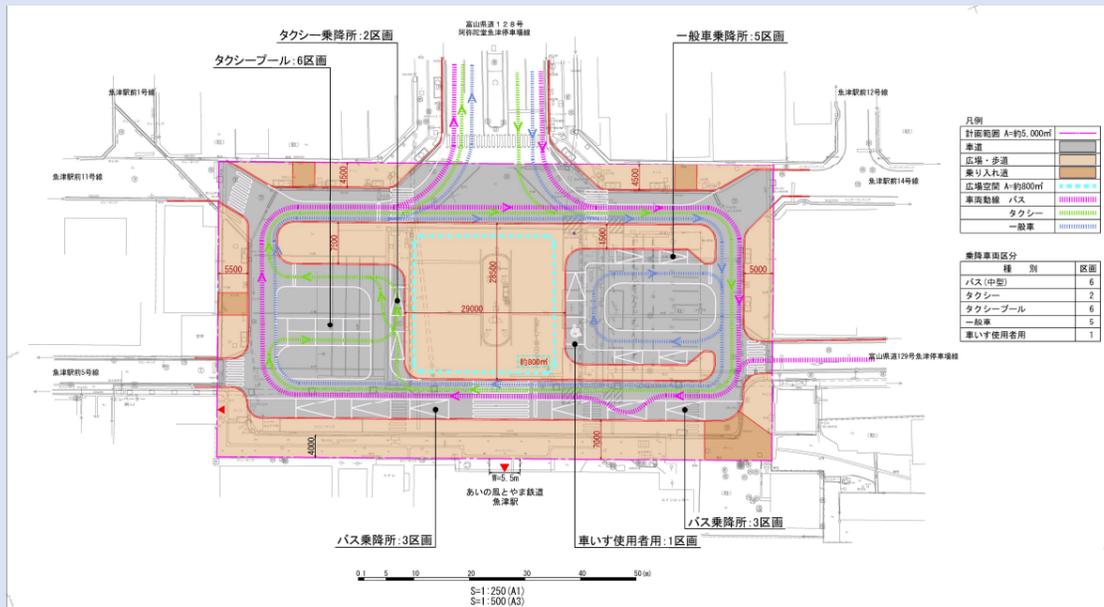
【PLAN-A】 公共交通、一般車乗降利用を重視したプラン
 ⇒一般車乗降所数等は確保されるが、広場面積が小さい



【PLAN-C】 賑わい空間の創出を重視したプラン（広場空間が柿の木割側）
 ⇒一般車乗降所数等は減るが、広場面積を確保し、柿の木割エリアと一体的な活用が可能



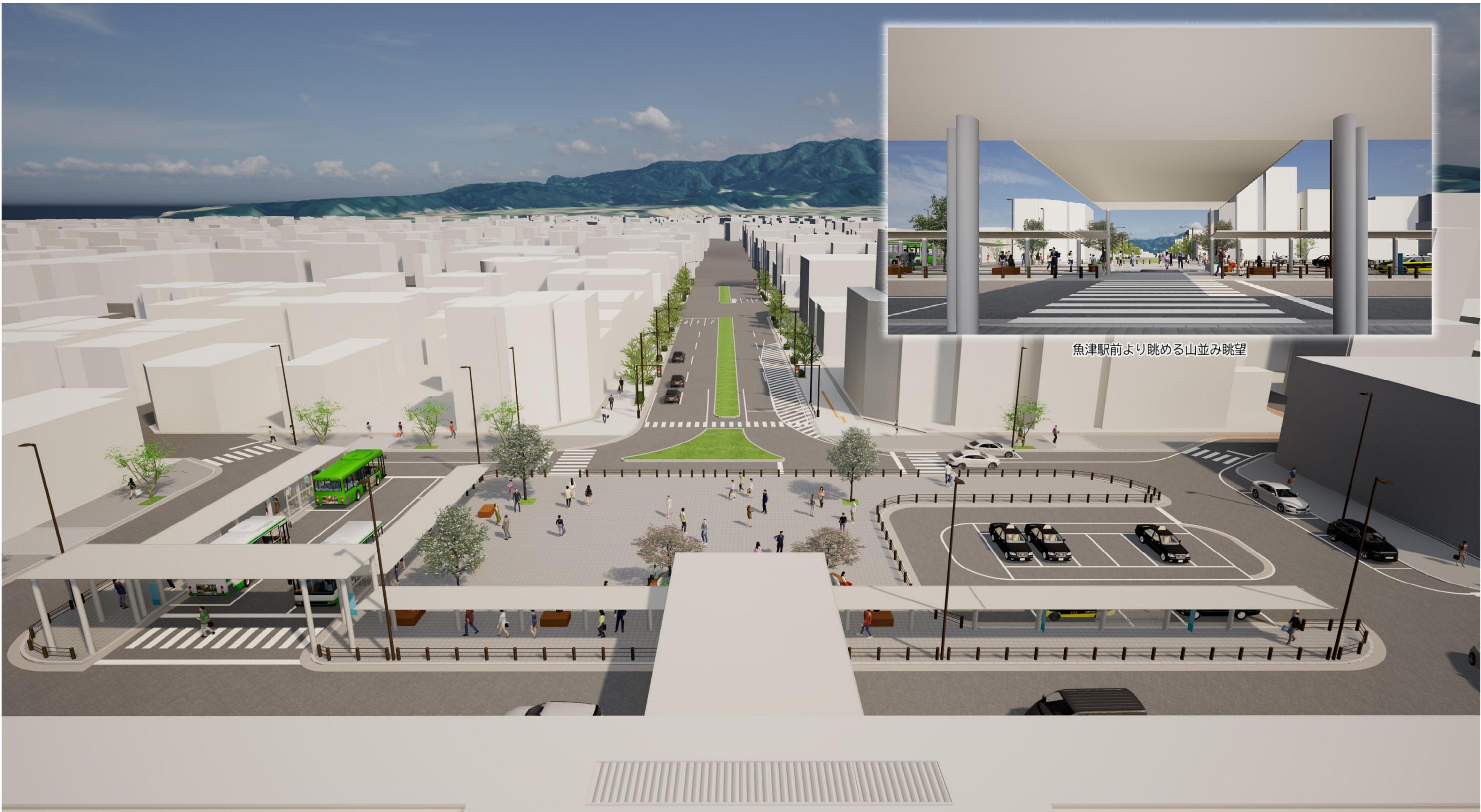
【PLAN-B】 賑わい空間の創出を重視したプラン（広場空間が中央）
 ⇒一般車乗降所数等は減るが、広場面積を確保し、広場より山並みが眺望できる



主な意見内容

分類	主な意見内容
車両の動線	<ul style="list-style-type: none"> ● 一般車両を可能な限り排除 ● シンプルな動線
一般の駐車場、乗降スペース	<ul style="list-style-type: none"> ● 駐車的时间制限を設定 ● 送迎車専用の動線を確保
公共交通	<ul style="list-style-type: none"> ● タクシーよりも一般車の乗降を優先に
広場空間	<ul style="list-style-type: none"> ● 交通の機能を優先に ● 広場は柿の木割側に ● イベントを想定した広場に
デザイン、設備	<ul style="list-style-type: none"> ● 日常的に立ち寄れるようなデザイン ● 観光客を意識したシンボリックなデザイン ● バリアフリーへの配慮 ● 歩行者の動線にシェルターを設置

令和5年10月17日(火)、魚津市役所4階 第1委員会室で11名の方々にご参加いただき、合同ワークショップを開催しました。
 合同ワークショップでは、前回ワークショップで意見交換を行った「柿の木割(線路沿い)の照明灯」、「旧観光案内所跡地駐輪場」のデザイン検討に引き続き、参加メンバーの皆さんが3班に分かれ、魚津駅東広場の配置計画やデザインについて協議しました。



魚津駅前より眺める山並み眺望